

港北区災害ボランティア連絡会 News



事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸13-1吉田ビル206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

FB 港北区災害ボランティア連絡会

110号

2022年11月



- * 入会は随時受け付けています。
- * あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください。

マイタイムラインに記入してみた

9月号にも書いたように水害時のハザードマップとタイムラインが配布されましたが、配られたままでは何にもなりません。そこでまずは連絡会会員が取り組もうと10月定例会でのワークとなりました。思わぬ気づきがあり、やはり実際に書くことの大切さを知りました。

改めてハザードマップを見てみると、洪水の危険は鶴見川、早渕川、矢上川周辺と鳥山川で高いことがわかります。思い返せば菊名に住んで50年近くになる私も、菊名駅が浸水で東横線が不通になったのを経験していますが、最近は幸いにして川の氾濫は起きていません。河川整備や大小の遊水地設置が効果を表しているからでしょう。（写真）

しかし区の半分以上が洪水により0.5～3mの浸水となり、大倉山、新吉田、北新横浜では3～5mの予想となっていることは該当地域の住民の方はしっかりと受け止めておく必要があります。

一方内水氾濫のハザードマップとなると区内各地が黄色（浸水深、2～20cm）に塗られており、洪水ハザードマップにより危険性が指摘されています。そして問題としては洪水と違い全区的に危険性のあるところが存在することです。



空からみた遊水池

ワークではまず会員各自の水害の安全度を確認しました。鶴見川近くに住んでいる方から、自宅の地域の危険度が高いとの声がありました。ただ洪水ハザードマップは丁目単位のざっくりとした色分けが多いため、自宅の地理的条件、またマンションなら何階に住んでいるか、戸建てなら平屋か（垂直避難が可能か）どうか等の個別条件で安全度は変わってきます。

一方内水氾濫でも床下に水が入ってきたら、床下や地下に溜まった水を排出し、完全に乾燥させるのは大変なことなのです。

最近の雨の降り方は異常です。道路は100%近く舗装されていて雨水はもろに下水に集中します。横浜市の下水管の処理能力は50～60mm/時間ですから静岡に被害をもたらした台風15号のような大雨になればマンホールから水が噴出するとか、2019年の多摩川水害のように大きな川の流量が多すぎて支流から水が溢れ出すということもあり得るでしょう。

そのような様々な話をするきっかけとしてマイタイムラインの記入はとても有効なものでした。

（宇田川）

北綱島小学校地域防災拠点訓練 2022

コロナで小学校と合同開催が2年振りとなった拠点訓練は、実技+座学の体制で実施されました。コロナ禍の前より参加者が100人程少なく1,044人でした。

(運営委員62、住民366、小学校583、関係機関その他33)

実技は〈一般住民〉エンジンカッター・油圧ジャッキ・発電機+投光器・スタンドパイプ初期消火器・下水道直結トイレ組み立て・搬送訓練〈小学生〉起震車体験・防災ビデオ(視聴)・VR体験(タブレット使用水害体験)・要援護者人形劇(区社協、こども)・災害用トイレ・高齢者体験(区社協)・緊急給水栓(水道局)・水消火器体験・搬送訓練でした。

座学では「在宅避難をしていただいている皆様へ」という事で、物資配布などについて・水について・情報について・医療機関について・拠点からのお願い・拠点に避難して来られるときは…・ボランティアの依頼について・感染予防について・小学生、中学生の保護者の方へのお願いなどについてのお話でした。(「在宅避難をしていただいている皆様へ」「地域防災拠点ペット登録票」資料配布)

大きな被災なく無事に在宅避難が出来たときにも、必ず避難者カードの提出(安否確認と物資配布時に不公平感のないようにする為)のお願いと、住まいの近くに高齢の方や援助を必要とされている方がいる場合は安否確認と拠点への情報提供・お手伝いのお願い・拠点に来られるときは出来るだけ徒歩または自転車などで来ること(車来場は禁止)の話がされました。

また、6年生は日頃防災学習で学んだことを住民の皆さんに広報してくれていました。内容は港北区防災アプリ、とコミュニケーションボードについてでした。拠点には皆コミュニケーションボードがあるはずですが、皆さん訓練の時に目にしたことありますか?防災アプリはなかなか情報を見るのに便利ですが、スマホを持っている人でもなかなかアプリを入れていないようです。是非入れてみて下さい。(6年生が大きな声で!!)

「一般的な訓練は意味がない」と言う方もいますが、繰り返して訓練をすることで、もしもの時に皆さんで力を合わせて動けるのではないかと改めて思いました。自分の命が無事であっても、復興のときには皆さんの協力が不可欠です。備蓄品だけでなく、色々なことに目を向けて災害に備えましょう。(北綱小防災拠点運営委員・付岡)



イラスト提供：公益財団法人市民防災研究所
<http://www.sbk.or.jp/illust/>

【シリーズ災害食】

鯖水煮缶と、白インゲン豆とトマトソース煮

材料

鯖水煮缶 1缶 (汁ごと)
インゲン豆水煮缶 1缶 または大豆水煮缶
野菜ジュース 適量 またはホールトマト缶

作り方

材料それぞれを合わせて鍋に入れ火にかけ、塩・胡椒で味をととのえて出来上がり

直接鍋を使わずに耐熱ビニールで材料を入れて湯煎でもOK(パッキング)

ポイント

それぞれの水煮の汁には旨味が出ているので固形ブイヨンも不要と思われます！

コーン缶があれば黄色い色味が入って良いかも

非常食でなければ玉ねぎ、にんじん、じゃがいも、ナスなどの野菜を入れたら美味しい

参考：<https://www.kurashiru.com> クラシル料理レシピ



ガールスカウト
神奈川県第21団
蓮池真由美様より投稿

仲手原防災キャラバン

～発災時のトイレについて考えました～

10月15日自治会館にて防災キャラバンがありました。

テーマは「発災時のトイレ問題について」です。講師の加藤 篤氏のお話はわかりやすく楽しいものでした。お話を聞いているうちに、確かにこれは一番に考えなくてはとあらためて気づきました。

水、食料、電池、カセットガスなど揃え、トイレにも緊急用トイレセットを置いてあり、大丈夫！と思っていたのですが具体的に数字を提示していただきこれは、足りないわと反省しました。さらに、地震の場合、家のトイレが壊れていなくとも下水道の破損があるかもしれない。そのまま流したらどこかで溢れてしまうかも。

一人一人が気を付けないと、発災後とんでもない状況に陥ってしまうとぞっとしました。ただでさえパニックになっているだろう状態で判断する為には今のうちからいろいろな状況を考えシミュレートする事はとても大切だと思いました。

今回の講習を参考に早速足りないことに取り組もうと思います。ためになる講習をありがとうございました。

備考：

当日は仲手原自治会館とリモートにて開催。講演と共に会館の外のマンホールトイレを見学したり、段ボールトイレの作り方などの説明も、リモート参加の方も含めて行われたそうです。

民生委員 田村さん

手を引っ張らないで

1.はじめに

視力の面や歩行でお手伝いが必要な方をお手伝いするシーンは、日常生活でも発生しますが、避難所での共同生活ならばなおさらです。歩行のお手伝いをするときには、手を引っ張らないでください。



イラスト出典
イラストAC

<https://www.ac-illustr.com>

2.エッ、何で？

何でかと思われる方は多いかと思いますが、手を引っ張ることは、自分のペースで歩く事を求めるため、お手伝いが必要な方にとってはペースが速い事がほとんどです。ご自身でも、イラストの女性のよう

3.肩や肘を持ってもらう

お手伝いするときには、手を引っ張るのではなく、自分の肩や肘を持ってもらいます。そして、お手伝いを必要とする方の歩幅やペースで歩きます。

そして、右左折するときには、ただ曲がるだけではなく、「右へ曲がります」といった声かけが必要です。

さらに、信号を渡る際には、渡れそうになれば、見送って次の青信号を待つようにします。

信号を渡れそうにないからと急ぐと、お手伝いが必要な方が困ってしまいます。

4.おわりに

このお手伝いは、サービス介助士のスキルの1つです。サービス介助士は、「共生」を目標に、サービス業だけでなく、色々な産業で取得者が増えています。「自分には関係ない」と思わずに、取得を目指してはいかがでしょうか。

(岩撫、サービス介助士)

<防災コラム>

災害用コミュニケーションボードは2008年1月に「セイフティーネットプロジェクト横浜」が趣意書を以って作成しました。

「コミュニケーションボード」とはコミュニケーションが苦手な知的障害のある方などと、周囲の人たちとの間をつなぐ話し言葉に代わるもののひとつです。文字やことばで意思を伝えることが難しくても、ボードの絵を指さして意思を伝える事ができる人もいます。

障害のある人は、自分の気持ちや状況をうまく伝えられなかったり、必要な情報を集められないことがあります。災害時、障害のある人が必要な支援や情報を得られるように、避難所の皆さんも応援してください。こんな時のために「災害用コミュニケーションボード」を活用してください。

(付岡)

【編集後記】

- ・お手伝いに必要な基本スキルは持ち続けたいものです(岩撫)
- ・災害時のトイレ問題は重要です。体調ばかりでなく、精神的にも大きな影響が及びます。(付岡)
- ・無料の視覚障がい援助ボランティア講座があります。「神奈川県ライトセンター」で検索してください。(室伏)
- ・熊本地震の避難所運営のサポート時、仮設の和式トイレより数少ない洋式トイレに長蛇の列ができていたことが印象に残っています。災害時のトイレのあり方を学びたいと思います。(鴨下)
- ・ITの活用が強く言われていますが、スマホの機種ごとのOSの違い、windowsとmacの違い知っていますか？説明されている方自体が、きちんと理解されていないように思える時があります。OSはスマホやパソコンにとっては「言語」なので、とても大切なことなのですが・・・(中島)